

1 経営戦略の基本

（1）経営戦略の背景・目的

「経営戦略」とは、**今後10年**間における施設の更新や耐震化等の投資的な支出とその財源からなる**資本的収支**と、水道料金や事業運営に必要な費用などの**収益的収支を試算**し、将来にわたり**持続可能で透明性のある経営的収支を示す基本計画**となるものです。

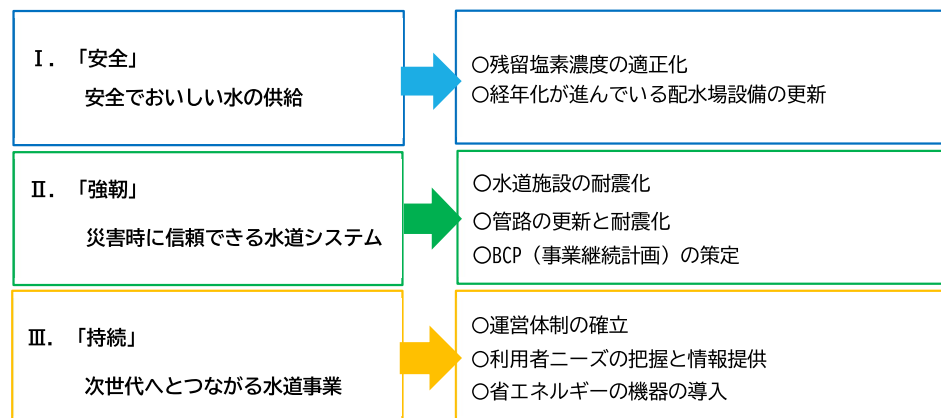
近年の物価高騰等の急激な事業環境の変化や水道料金の改定を踏まえ、平成29年度に公表した「津島市水道事業経営戦略」を見直し、安心・安全で安定した事業経営を推進していきます。

（2）計画期間

令和8年度（2026）から令和17年度（2035）までの**10年間**

2 経営の基本方針

津島市水道事業では、津島市水道ビジョン令和4年度（2022）から令和13年度（2031）において、「安心・安全に 未来につなぐ 津島の水」を基本理念とし、以下の3つの施策目標を掲げ、各種課題に対する施策の実現に向けて事業運営に取り組んでいます。



3 水道事業の収支計画の前提条件

必要な更新投資額の収支計画は以下の条件のもとに行いました。

①料 金 単 価	令和8年度からの新料金体系にて試算
②給 水 需 要	津島市人口ビジョン値と同一にし、給水人口と給水量を算出
③投 資 の 財 源	国の交付金を活用（補助率 1/3～1/4） 他の財源は企業債（充当率 40%）と損益勘定留保資金を活用
④支 払 利 息 等	令和9年度より借入金利2%を見込む
⑤資 金 残 高	自然災害等の復旧を勘案して 約5億円 程度を確保

4 水道事業の投資計画

令和8年度（2026）は当初予算額とし、令和9年度（2027）～令和17年度（2035）までの投資計画は以下のとおりとします。

（1）管路の耐震化と老朽管の更新

基幹管路の耐震化と老朽管の更新のため、国の交付金や企業債を活用して**約4億円/年間（総額約40億円）**の投資を予定しています。

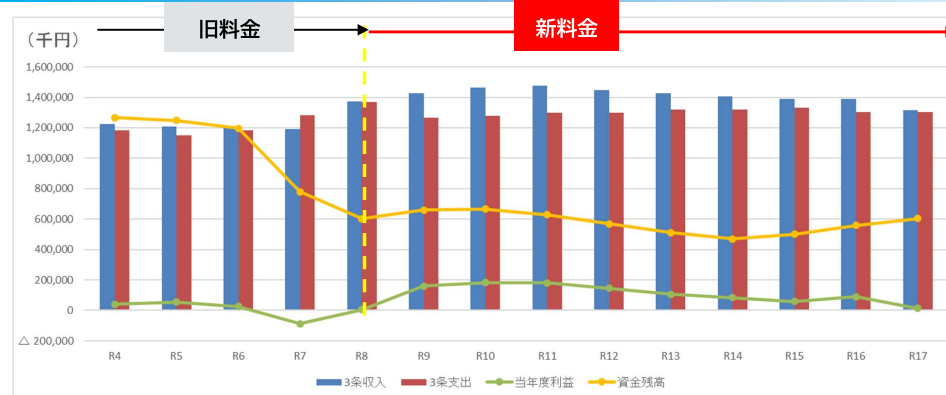
（2）配水場の更新と耐震化

- ① 又吉配水場では、非常用自家発電設備の更新や、配水池の耐震補強など**総額約7億円**の投資を予定しています。
- ② 神守配水場では、電気設備の更新として**総額約13億円**の投資を予定しています。

（3）健全な事業運営

10年間で総額約60億円の投資を予定しており、特に施設更新などの投資額の影響は大きいため、施設投資に必要な財源のうち、**企業債の年間発行額を3億円以内**とするとともに、投資額の平準化を図ります。

5 収支計画の試算結果



【結果】シミュレーションの結果、料金改定後の令和8年度以降の**経常損益は毎年プラス収支**となり、災害時の復旧を勘案した**資金残高の目標額約5億円は確保**できる。

6 経営戦略の進捗管理

- （1）PDCAサイクルによる進捗管理を行うことで事後検証を行います。
- （2）今後の人口動向、事業の実施状況等、様々な水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、**概ね3～5年の期間で見直し**を行います。

